

パブリックコメントの実施結果について

【意見1】

整理番号	該当箇所	意見の内容	市の考え方
1	基本方針5-① 「音楽のまち・ほくと」を目指す、多種多様な音楽活動の推進	「音楽のまち・ほくと」として、上磯中学校の吹奏楽部を全面的に取り上げ強調するのは止めてほしい。	「音楽のまち・ほくと」の推進については、各学校の吹奏楽部や合唱部の活躍だけを取り上げるのではなく、北斗市の強みである、音楽活動を支える恵まれた施設環境をもとに、鑑賞機会の充実や参加機会を創出し、音楽のもつ優しさや強さを育み、感動を共有できるように、市民意識の醸成を図りたいと考えています。

【意見2】

整理番号	該当箇所	意見の内容	市の考え方
2	大綱全般について	教育大綱には、「地域の教育力向上と生涯学習の推進」との部分もあります。教育大綱は、子どもだけではなく、大人も含んだ教育大綱なのでしょうか。	教育大綱は、教育、学術、及び文化の振興に関する総合的な方針を学校教育分野と社会教育分野において定めております。 学校教育分野では、「誰一人取り残さない、ふるさとを愛し、そして世界へはばたく子どもたちの育成」を目標に大きく3つの基本方針「①社会で活躍する教育活動の推進 ②誰ひとり取り残さない教育環境の整備と充実の推進 ③ふるさと「北斗」に誇りをもてる教育の推進」を定めております。 また、社会教育分野では、「文化・芸術・スポーツに親しみ誰もがいきがいの持てる教育の推進」を目標に2つの基本方針「①地域の教育力と生涯学習の推進 ②市民が主体的にかかわる芸術・文化の振興とスポーツ活動の推進」を定めております。 ご意見の「大人も含んだ教育大綱なののでしょうか」ですが、大人の方々は、社会教育分野において述べていただいております。例としましては、超情報化時代へ対応するための各種教室（スマートフォン、タブレット教室など）の開催や高齢者大学を通じての多様な学習機会を提供しております。また、市民の皆さんがスポーツに親しみ気軽に参加できるスポーツ教室の開催やラジオ体操の普及促進を図っております。
3		大綱はシンプルで良いと思いますが、改正の理由（法的な改正理由ではなく）、目標などについてはもう少し説明が欲しいと思います。	これまでの教育大綱では、基本目標と6つの基本方針、15の施策と施策の具体的な事業についても定めておりましたが、これにより、具体的な事業が対象期間内に実施するものと捉えられることなどがあったため、新しい教育大綱では、対象期間（令和4年度から令和7年度）における基本目標と5つの基本方針と基本方針の具体的な項目（これまでは施策）とし、シンプルで明確に教育方針を定めております。なお、個別の事業等につきましては、各年度の教育執行方針のなかで、具体的に示して取り組んでまいります。 また、基本目標については、主となる目標と学校教育分野と社会教育分野にそれぞれ目標を設定し、それぞれの目標に向けた具体の基本方針（学校教育分野は基本方針1から3、社会教育分野は、基本方針4から5）を定めて、分かりやすい教育大綱としておりますのでご理解願います。

整理番号	該当箇所	意見の内容	市の考え方
4		大綱作成のプロセスが大事だと考えます。市民の声をいかに計画や施策に反映させるかが自治体の課題だと考えます。市民アンケート、市民参加のワークショップ、教育関係者ヒアリングなどの導入についてご検討いただければ幸いです。	教育大綱は、市長が北斗市の教育、学術及び文化の振興について総合的な施策の大綱を定めております。大綱を定めるにあたりましては、市長、教育長、5名の教育委員で構成します総合教育会議でいろいろと協議を重ねて作成しております。その後、作成しました教育大綱について、パブリックコメント手続きを実施して、広く市民からの意見を求めているものであります。また、学校教育事業や社会教育事業につきましては、市民の代表で構成しております北斗市学校教育問題検討委員会や社会教育委員会で、事務事業の点検評価について協議しております。
5	基本方針2-④ 教職員の働き方改革の推進	教職員の働き方改革の推進についてですが、勤務状況の改善は喫緊の課題となっています。この項は、SDGs 8の課題でもありますので、教職員を含めた働く市民のための改革推進などとしてほしいと思います。これこそ、一人も取り残さないというSDGsの理念と合致すると思います。	教育大綱は教育行政の方針であることから、教職員分野の働き方改革に限定した表現としております。

【意見3】

整理番号	該当箇所	意見の内容	市の考え方
6	基本方針1 社会で活躍する教育活動の推進	「社会で活躍する教育活動の推進」とあるが、「社会で活躍する力を育む教育活動の推進」としてはどうか。	ご意見の内容を踏まえ、修正いたします。
7	基本方針1-③ グローバル社会、超情報化社会への対応する教育の推進	「グローバル社会、超情報化社会への対応する教育の推進」を「グローバル社会、超情報化社会に対応する教育の推進」としてはどうか。	ご意見の内容を踏まえ、修正いたします。
8	大綱の趣旨について	SDGsの理念を目指す、誰一人取り残さない包摂的な教育環境の整備とは、落ちこぼれを少なくする様な従前よりも手厚い策を必要としますが、具体的には、人・事・物への整備費増と考えると良いのでしょうか。 ①特別支援教育支援員の増員 ②S S WやS Cの活用時間数の増加 ③特色ある学校づくりの推進費用増 ④学校現場への支援員（事務・他）の増加	これまでも誰一人取り残さない包摂的な教育環境の整備を進めております。具体的には、ご意見にあります①から④の人的増員やコロナ対策で必要とする備品、熱中症対策として、保健室へのエアコン設置やミストシャワーの整備など実施しております。今後もご意見にあります①から④も含め、各学校の特徴に応じて、学校現場の意見も取り入れながら、誰一人取り残さない包摂的な教育環境の整備を進めて参ります。
9	基本方針3 ふるさと「北斗」に誇りをもてる教育の推進	郷土愛を育む3行の箇所は、社会教育に頼らずに、全て、学校教育に特化し、学校教育の予算増の中で、ふるさと「北斗」のまちづくりを考案させてはいかがでしょうか。「特色ある学校づくりの推進」という見出しで、郷土愛を育む3行を盛り込んではどうでしょうか。学校の「総合の時間」に、1校100万円ほど、裁量予算を計上している町が幾つかあります。	この「ふるさと「北斗」に誇りをもてる教育の推進」につきましては、学校教育分野の項目として位置づけ、様々な教育活動を通じて、児童生徒がまちへの誇り、愛着、共感をもって、まちのために自ら関わっていくとする気持ち、「シビックプライド」の醸成を図ろうとするものです。

整理番号	該当箇所	意見の内容	市の考え方
10	基本方針4-④ 子育てや家庭教育支援の推進	<p>少子高齢化の現象や長引く不況。そして北斗流出人口にて、コミュニティ社会がどんどん、さらに萎んでゆきます。住みやすい街とは、故郷に帰りたくなる町、素敵な町、素晴らしい遺産がいっぱいある町、魅力のある町です。特に人と人をつなぐ、伝統行事やイベントで深い交流ができる町だと思います。住んでいる人がしっかりしていて、家庭が安定していること、また優しい福祉の町であることが重要です。滞落しない町を維持するためには、やはり子育てに優しい町であることが、重要だと考えます。そこで</p> <p>★人材です。 人にお金をかけていただきたいと存じます。地域コーディネーター・ファシリテーター・未来創出塾など地域を巻き込めるスタッフ・部署の強化が求められます。</p> <p>★民間への助成金です。 公（官）で全てを丁寧に賄うという発想ではなく、私（民間）を育成し、民間で、幅広く、〈子育てや家庭教育〉の支援を図ってもらうという考えです。</p> <p>現在、とても困っている多くの家庭を救える機関は、自治会や民生委員、学校、児童相談所、保護司でしょうか。既にかかりの家庭では、近隣の身近なところに、知り合いがいなくなっています（人間関係が希薄化）。再構築しないとバラバラのまま。現在、幸いなことに、子ども食堂や寺塾、宿題カフェ等の民間の社会福祉団体が萌芽しています。しかし、その運営資金には課題が多く、放置すれば1～2年で消滅してしまいます。親和力のある人材や人との結びつきを伸張できる団体に、市として支援することも、「人が住みやすい街」、質の良いコミュニティづくりに繋がるものと思います。ぜひキラリと輝くコンパクトシティ（北斗）では、人に、特に子育てには温かいまちだと思わせてください。内閣府が案内している福祉助成金の制度を活用するなどして、何卒福祉のまちづくりへと転化した市政をいただきたく、切に要望いたします。</p>	<p>ご意見のとおり、子育てや家庭教育支援の推進については、学校教育と社会教育を所掌する教育委員会と福祉や子育てなどの分野を所掌する市長部局が相互に連携し、そして家庭や地域など子どもに関わるすべての方々と協力して進めていかねばならないものと考えております。</p> <p>本大綱では、基本方針4 地域の教育力向上と生涯学習の推進を掲げ、その中でも「子育てや家庭教育支援の推進」として、子どもの成長段階に応じた計画的・継続的な学校と家庭における教育力を高める学習や情報交換などの機会の充実を図るなどの観点から方針を打ち出したものであります。</p> <p>また、ご提案いただいた民間の団体との連携、支援並びに福祉のまちづくりに関しましては、今後の具体的な取り組みの参考とさせていただきます。</p>

【意見4】

整理番号	該当箇所	意見の内容	市の考え方
11	大綱全般について	<p>基本目標、基本方針、表現がほぼ全て～の推進とあるが、4年間で各方針の何がどこまで達成されたら良しとするのか具体的なイメージが見えない。</p>	<p>教育大綱は、市長が教育分野における指針や方向性を定めるものであり、具体的な事業や内容などにつきましては、教育行政執行方針や事務事業の点検及び評価報告書などで周知していくものとしております。</p>

整理番号	該当箇所	意見の内容	市の考え方
12	基本方針1-③ グローバル社会、超情報化社会への対応する教育の推進	<p>グローバル社会、超情報化社会への対応する教育を本気で目指すなら、北斗市独自のインターナショナルスクールを開設して、全てを英語による授業を行い、同時にITを生かしたカリキュラムを作り、中にはマーケティングを指導しながら世界と経済的取引きをすることができる力を育てることが必要である。</p> <p>英語圏以外の外国人（大人、子ども全て）に対して、無償の日本語教育を実施し、その人達がいずれ北斗市とその人の国（町）との文化的・経済的掛け橋になるように取り組むことが必要。</p>	<p>グローバル社会、超情報化社会への対応する教育の推進につきましては、新たな時代を切り拓く力を育成するため、またグローバル化に対応するためには、ご指摘のとおり英語力をつけていかねばならないと考えていることから、小学校低学年から生の英語に触れることができる英語授業の展開や英語検定の検定料の補助を行う等段階的に関連事業を推進していこうとする考えであります。その他、特色ある学校づくりの一環として、日常の学校生活における英語の積極的な取り組みに対しても支援をしていきたいと考えております。</p>
13	基本方針3-② ふるさと「北斗」の未来を拓こうとする教育の推進	<p>北斗市の今後の産業を考えると農業、水産業は維持する必要がある。人手不足の解消も必要。陸上養殖と水耕栽培を組み合わせた循環型の農業システムである「アクアポニックス」やドローンを使った農業経営の指導・助成、養殖などを検討し、いずれにしても北斗市のブランド品を作る必要がある。</p> <p>ITやロボット、自動運転車などを効果的に使った北斗市独自のコミュニティ地区を作ってみてはどうか。</p>	<p>ご意見をいただきました産業分野に係るご提案につきましては、本市の基幹産業である農業、水産業振興に関する具体的な事業を実施する際の参考とさせていただきます。</p>
14	基本方針5-① 「音楽のまち・ほくと」を目指す、多種多様な音楽活動の推進	<p>音楽のまちとあるが、具体的にどんな街か。コンクールで優秀な成績を取ることか。ストリートミュージシャンがあちこちにあるわけでもなく、街中から音楽が聞こえてくるわけでもない。住む人の世代の好みの音楽ジャンルの違いもある。ほとんどが各学校の吹奏楽や合唱部の活躍だけを取り上げているようだ。それで音楽のまちといえるのか。指導者が代わり、児童生徒も代わる（児童数も減る）。コンクールで優秀な賞が取れなくなったらどうなるのか。それよりも、「花のまち、北斗市」を目指した方が良い。大野川沿いに全天候の自転車専用レーン、歩行者専用レーンを作り、散歩のとき、花を鑑賞できれば市民の憩いの場として大いに活用できるだろう。</p>	<p>「音楽のまち・ほくと」の推進については、各学校の吹奏楽部や合唱部の活躍だけを取り上げるのではなく、北斗市の強みである、音楽活動を支える恵まれた施設環境をもとに、鑑賞機会の充実や参加機会を創出し、音楽のもつ優しさや強さを育み、感動を共有できるよう、市民意識の醸成を図りたいと考えています。</p> <p>また、ご提案をいただいた「花のまち、北斗市」の構想につきましては、北斗市のPRそして北斗市の強みをいかした取り組みの一つとして、参考とさせていただきます。</p>